

## 次への一步 〈真木 美智代〉

### 第3回 香りに誘われ<sup>はるか</sup>未来の夢へ ～アロマレーヌ10年・さらなる10年へ～



バラを活かした新しい温泉地づくりとアロマセラピーのコラボが、この夏ひとつの素敵な出会いから始まりました。誕生したのが『ピース』『ラブ』『レガシー』100%天然精油と植物油

だけで調整した『練り香・いわ夢ろ〜ず』です。10月下旬より一般発売となりました。

新潟県新潟市の奥座敷として人気が高い岩室温泉。春から秋にかけて600種、1,200株が咲きそろう「お杉バラ園」は、岩室温泉の自慢です。開園から8年。美しく成長したこのバラをモチーフに、女性をターゲットとした商品を開発することになりました。

温泉の活性化を試み、他にはない地元の魅力を掘り起こそうとしたのが、開湯300年を迎えた岩室温泉の老舗旅館の女将など地元で働く女性達。新しいことを自らの手で創造しようとしている岩室の女性たちの凛とした美しさと強さ、そして優しさを香りで表現できないか・・・。

私はそこでアロマフレグランスをブレンドする調香師として参加させていただき、岩室温泉オリジナルの香りを創香しました。また、今年はアロマセラピーを始めて10年の節目。何か記念になるものを残したく思い、クラフト製作が得意な卒業生・土佐優都季さんに依頼をし、「ローズ」をモチーフとしたアロマの練り香ケースを製作して貰いました。



真木美智代 (Michiyo Maki)  
ナード・アロマセラピー協会認定  
アロマ・トレーナー  
アロマセラピスト・トレーナー  
新潟県新潟市  
Aroma Reine アロマ・レーヌ主宰

様々なご縁が重なり、良い出会いが実を結び、岩室温泉オリジナルの香り製作の依頼をいただくことになりました。地域の魅力や彼女たちの思いを伺い「バラ園」「山からの緑薫る風」「人情味あふれる民話」などから岩室のイメージを表現する3種類の香りを調香しました。

#### 《卒業生とのコラボレーションも》

3種の香りはどれもローズ様の香りです。アロマ初心者の方の岩室の皆さんに香りの世界に夢を持っていただけよう、木の皮で出来たバラの花をムエット代わりにして、岩室での初プレゼンテーションに臨みました。香りを付けたアートフラワ



ーは、フラワーデザイナーで活躍中の卒業生・高橋真由美さんに製作を依頼しました。さらに、ローズの練り香ケースも卒業生とのコラボですので、嬉しさ100倍！つながらりや絆を育む喜びがありました。

ご提案した香りが全て採用され、一般投票でそれぞれの香りに『ピース』『ラブ』『レガシー』と



いう名前が与えられました。約1か月弱の投票期間で100通を超える応募があり、予想を上回る「香り」への注目度の高さに関係者一同驚いていました。投票用紙の一枚一枚に目を通して気付いたのですが、香りのネーミング募集に『一生の愛を誓った夕暮れ』など、熟

年の方々の「愛の思い出」を連想させるような記述が多かったのです。79歳の男性からも大変文学的センスの高い愛の表現が寄せられ、心が温かくなりました。「香とはその人自身の愛の思い出」をフィードバックさせる力がある様です。

名前が決まった後は商品製作です。パッケージデザインは岩室の方々が行き、すっきりとしたバ

ラの香りの『レガシー』が、岩室温泉の夢をのせて10月下旬にデビューしました。練り香製作は、奇しくも中秋の名月の晩に行うこととなり、満月パワーがしっかりとり込まれています。

新商品のお披露目は、大勢の人があつまる地元ロックフェスティバルの特設ブースで行われました。4年に一度、岩室温泉に合宿して美術展を展開している美大生も宣伝に協力してくれました。『ピース』と『ラブ』も、まもなく発売予定です。

開湯300年を迎えた岩室温泉とアロマセラピーの出会い。パレットの絵の具をブレンドするように鮮やかに香りが広がっ

ていく・・・今後の展開が楽しみです。



### 特集テーマに寄せて：冬の乾燥肌対策

「新潟美人」は日本海側特有の湿った気象環境により作られます。新潟の冬は湿度高め、しっとりとしており静電気におびえる程の空気の乾燥がありません。お肌に優しい気候なのです。

11月下旬頃から2月頃まで、約1週間周期で西高東低の冬型の気圧配置となり、太陽が照りつけるのはわずかな時間です。私の住む街（新潟市）の冬は、フランスのノルマンディー地方のような鉛色の空が主役となります。

そんな新潟暮らしの私のスキンケアは精油と植物油がメインです。ローズヒップ油、アルガン油をよく使います。精油はローズを主体に約1か月ごとにブレンドを変えています。ブレンド・ハーブウォーターを入浴後に全身塗布した後、アロマトリートメント。この御蔭か、私は乾燥肌に悩むことがなくなりました。

ところで、セルフケアを怠るとすぐにお肌の乾燥が始まります。ストレスや加齢による女性ホルモンの乱れ・低下により、真皮層ではお肌の張りの元コラーゲンを作る繊維芽細胞の動きが低下。合わせて表皮では水分保持能力の低下が起こり、乾燥肌へと傾いてしまうのです。ですから、お肌の乾燥・シワ予防には精油による嗅覚からのストレスケアとホルモンバランス調整がベストなのかも知れません。

アロマティックスキンケアは、心と肌代謝を健やかに保ち、加齢による女性ホルモン量の低下に伴う急激な肌老化を「最小限」に抑える可能性があるようです。

ポイントは、先ず十分な水分量の補給です。何故なら、乾燥したお肌は干し柿のようなものですから、そのようなベースにいくら油分を補っても乾燥したままではふっくらとしませんもの。たっぷりと水分を与えてからその水分を逃さないように植物油で蓋をします。ハーブウォーターと植物油でのアロマスキンケアは正常なターンオーバーを促し、「乾燥肌対策」は「抗加齢対策」にもなり、一石二鳥です。